

平成29年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 豊浜商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考				
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価							
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	実施評価	自己評価	調査結果			満足度	必要性	補足	
巡回・窓口相談指導事業	経営基盤の脆弱な小規模事業者を、商工会職員が訪問し、又は商工会窓口にて、金融・税務・労働等の経営全般について、相談指導を行い、経営及び技術の改善を図り、健全な企業の育成を行う。また、創業の相談窓口設置により、起業家の育成に努める。	・巡回・窓口指導実企業数 237（内非会員11） 延べ指導件数 823（内非会員17） ・課題解決提案件数 19件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 102.9%)	指標	課題解決提案件数 (達成度 95.0%)	得られた効果	ワンストップで気軽に相談できる小規模事業者の相談相手。あるいは高度な案件については専門家への橋渡し役として、企業の経営や技術の改善支援を行い、また、各種施策の普及が図られた。	総合評価	A	実施評価	B	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	経営指導員を中心に、全職員での実施体制を整える。課題解決のための提案も積極的にを行い、事業者の持続的発展の支援をしていく。
記帳継続指導	個人事業主等を対象に正しい記帳方法や決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上に結びつける。	指導事業所数 75事業所 指導日数 567日 指導回数 948回 e-tax代理送信 所得税 67件 消費税 46件	小規模事業者	指標	記帳指導事業所数 (達成度 100.0%)	指標	(達成度 %)	年3回の講習会より申告書、決算書等を国税庁が進めるE-TAX代理送信を行い所得税67件、消費税申告46件と個人事業主は全員が送信することができた。	総合評価	A	実施評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	事業者に税制改正等の周知、記帳機械化推進を図る。	
講習会等	変化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な金融・税務・経理・労働・情報化等の知識習得や時事問題についての啓蒙を図り、事業者の資質の向上と円滑な事業運営に資することを目的とする。	開催数と受講者 集団指導 10回・29人 個別指導 12回・10人 規模や経費などの効率とそれぞれの特性の面から知多南部5商工会での連携事業を中心に実施した。	小規模事業者	指標	集団受講者数 (達成度 49.2%)	指標	個別受講者数 (達成度 32.3%)	理美容や塩干業の講習会は、流行の技術やタイムリーな情報の取得に欠けてはならないものである。消費税軽減対策の講習も施策を反映し、事業者の持続的発展の支援となった。	総合評価	B	実施評価	C	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	今後も連携事業とともに、必要に応じてタイムリーなテーマの講習会を実施していく。	
祭典事業	町の産業の紹介並びに生産性の高揚を目的に、町・農協・漁協と商工会で推進協議会を組織し、南知多町産業まつりを開催。農・畜・水産物の展示即売及び農畜産物品評会、商・工業製品の展示、即売会等を行い、地域産業の振興に寄与する。	11月5日開催 来場者 10,000人 事業所・団体の出店数 16農・畜・水産物の展示即売、品評会、商工業製品の展示即売、抽選会、アトラクション等を実施。本会から飲食店、小売店の出店。	商工業者並びに事業者団体	指標	出店者数 (達成度 106.7%)	指標	(達成度 %)	町内外から多くの観光客、消費者が来場し、豊浜（南知多町）の商工、観光業を広く紹介することができた。また商工会と行政、農水産との連携事業として意味があり、地域産業全体の振興に寄与している	総合評価	A	実施評価	B	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	南知多町一番のイベントとして定着しており、今後も町・農協、漁協、商工会の枠組みで実施していく。	
商店街・街づくり事業	街路灯、アーチを有効に点灯することにより、商店街の振興と発展並びに顧客の安全を図る。	水銀街路灯 111基 街路灯の修理や電灯料など維持管理を行なった。	小規模事業者	指標	街路灯基数 (達成度 97.4%)	指標	(達成度 %)	街路灯を有効に点灯することで、町の中を明るく活気づけ、買い物客等の安全確保にも効果があった。	総合評価	B	実施評価	B	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	まちの発展のため明かりを消すことなく守っていく。	
商工業振興事業	商業・工業・水産の各部会において、各業種の地域実態を把握するとともに、地域経済振興に向けた対応を検討、地域活性化に向けた各種事業の取り組みや地域商工業の発展に寄与することを目的とする。	・商品券等拡充強化 商品券販売数1,270千円（額面） ・商業・工業・水産の各部会の事業所・業種団体と協力の取り組みや地域商工業の発展に寄与することを目的とする。 各部会事業数 5	商工・水産事業者	指標	各部会事業数 (達成度 83.3%)	指標	(達成度 %)	商品券事業では、地区内消費者の購買意欲に寄与した。産業まつりでは、観光客、消費者への地域産業のPRと消費拡大に寄与した。	総合評価	B	実施評価	C	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	既存事業の見直しをしながら、新事業も検討する。消費税率10%の対策を視野に入れた事業計画の必要性もあり、商品券販売の拡充や、プレミアム商品券のあり方も検討。	
観光振興事業	町観光協会並びに地区内の観光関係者と密なる連携を保持し、観光開発と観光事業の振興に寄与することを目的とする。	イベントの開催及び参加 ・鯛まつり(7月22日・23日) ・豊浜花火大会(7月22日) 観光施設清掃、樹木の剪定等 観光美化事業を推進 観光施設美化事業回数 15	観光事業者	指標	観光施設美化事業回数 (達成度 100.0%)	指標	イベントの開催及び参加回数 (達成度 100.0%)	鯛まつりにおける観光宣伝事業は、地域の観光PRに寄与し、美化事業は観光施設管理として継続して実施の必要がある。	総合評価	A	実施評価	B	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	地区内外での観光PR等を積極的に展開し、観光地としての豊浜に目を向ける。	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

平成29年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 豊浜商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価																	
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価				今後の展開・改善点等		備考			
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	実施方法				
情報化推進事業	ITを活用して、有益な経営情報を取得したり、商工業者及び地域の情報を広く内外に発信し、或は情報の共有化を促進することにより、ビジネスチャンスの拡大や、経営の質を高めるための取組みを実施し、商工業の活性化と地域振興に寄与する。	ポータルサイト「おいなあ豊浜」の運営管理を行ってきたが、後半にサーバーの不具合等によりアクセス不能となった。原因不明のため一時停止しており、指標のアクセス数も不明。 大阪商工会議所が運営する「ザ・ビジネスモール」への参加登録事業所数 25	中小・小規模事業者	指標	50	0	指標	25	25	ポータルサイト「おいなあ豊浜」から豊浜の情報発信し、観光始め地区内商工業のPRに寄与している。 ザ・ビジネスモールは、モール内での取引のS E O対策としても効果がある。	総合評価	B	自己評価	C	調査結果	B	満足度	補足	目標	両方現状維持	ホームページは、不具合の原因究明と解決を早期に図り、リニューアルも含めて今後の運営を検討する。
調査・広報事業	中小・小規模事業者関連の施策の普及と、商工会員への地域情報の提供を行うため、広報活動を行う。	知多南部5商工会（武豊町・美浜町・内海・師崎・豊浜）で合同会報「風」を年4回発行（4月・7月・9月・1月）	商工会員及び小規模事業者	指標	4	4	指標			商工会事業及び施策等の情報提供を行うことにより、地区内商工業者の活性化に寄与した。	総合評価	A	自己評価	A	調査結果	B	満足度	補足	目標	現状維持	今後は、現状の年4回発行を維持し、内容について商工会員や小規模事業者のニーズにあった内容を検討し発行していきたい。
青年部・女性部事業	青年部及び豊青会（青年部OB会）・女性部での交流や社会福祉を通して地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与することを目的とする。	青年部及び豊青会事業の開催回数 12回 女性部事業の開催回数 9回 町産業まつり出店（11月5日） ・知多支部青年部・女性部連絡協議会及び知多半島ワーク委員会（青年部関係）のセミナー、交流会等の参加 ・若手後継者等育成事業 講習会開催回数 2回	青年部及び青年部OB・女性部員	指標	21	21	指標	2	2	各事業の企画・参加により、地域振興の担い手としての自覚が芽生え、地域資源活性化事業など商工会事業推進の役割を果たしている。 講習会開催により部員の資質向上につながった。	総合評価	A	自己評価	A	調査結果	B	満足度	補足	目標	①現状維持②上げる	・部員増強と組織強化を図る。 ・講習会等を数多く開催し部員の資質を向上させる。
福利厚生事業	中小企業、小規模企業の経営・雇用の持続的な安定を図るため、各種共済制度の普及により企業の健全な育成に資することを目的とする。	中小企業共済 631件 愛知火災共済 51件 PL保険 40件 計 722件	中小・小規模事業者	指標	765	722	指標			小規模事業者の福利厚生、事業所の設備・製品の方が一への備えの充実へ繋がった。 健康普及事業において、中小企業共済の助成金を活用する事業者も多くなり、同事業活用の促進にもなった。	総合評価	B	自己評価	B	調査結果	B	満足度	補足	目標	下げる	現行を維持すべく、引き続き普及・加入促進・給付金の手続き及び管理事業を行う。
健康普及事業	労働者の定期健診は必須だが、事業者が自ら企画することは面倒もあり、実施されない恐れもある。また、小規模事業者にとって事業主や家族従業員の健康状態は、事業経営に直結することから、安衛法の遵守と経営の安定を図るため実施する。	健康診断4回（7/4、5、9/5、6） 受診者632人（うち豊浜分236人） 半田市医師会と提携し、知多南部5商工会の広域連携事業として実施。法定健診、特定健診、協会けんぽの助成対象コース、一部特殊健診（じん肺・有機溶剤）にも対応。	中小・小規模事業者	指標	200	236	指標			毎年参加する事業所の定期健診の担保となり、早期発見・早期治療と健康管理の一助となった。 また、中小企業共済の助成金を受ける受診者も多く、共済のPRと福利厚生事業活用の促進も図ることができた。	総合評価	A	自己評価	A	調査結果	B	満足度	補足	目標	現状維持	ニーズ対応と健診の啓蒙が図られ、年々受診者が増えてきた。出張健診としては、検査項目等も限界に近しいと思われ、今後もニーズの把握に努めるが、概ね現行どおり実施していく。
労働保険事業	厚生労働省認可の労働保険事務組合として、事業所から委託を受け、労働保険料の申告納付、労働保険各種届出などの事務手続を代行することにより、事業主の事務処理の負担軽減と労働保険の適用促進並びに保険料の適正な徴収を図る。	労働保険事務受託事業場 99件 被保険者に係る届出 167件 特別加入に係る届出178件 事業所の各種届10件	中小・小規模事業者	指標	96	99	指標			事業主の事務処理の負担軽減と労働保険料の適正徴収に寄与することができた。 また、巡回・窓口相談と併せて労基法始め各種労働法規の周知と事業所の労務管理の一助となった。	総合評価	A	自己評価	B	調査結果	B	満足度	補足	目標	上げる	労働保険事務組合業務は、地域の対象事業所の状況を鑑み現状維持が妥当と思われる。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

平成29年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 豊浜商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										備考							
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価			今後の展開・改善点等						
青色申告会・法人会事業	経営者が法人会活動を通じ、難解な税法を理解し正しい税知識を身につけ積極的な経営を目指すことを目的とする。青色申告の普及、記帳・決算指導、税務講習会などを行い、町ぐるみの青色申告による自主申告、自主納税を目指すことを目的とする。	各種事業の参加者数 52人・5/8 法人会南知多支部会員を対象に「経営者の相続・事業承継」の講演会を開催22人・10/3 半田税務署職員による「税制改正」「消費税軽減税率制度」の研修会を開催13人・9/26 半田法人会会員を対象に、他支部との合同で視察研修を開催17人	町内195法人会員 各事業組合、 青色申告会会 員	指標	各種事業回数 (達成度 100.0 %)			指標	各種事業の参加者数 (達成度 74.3 %)			講演会・研修会の開催については、今後とも引き続き開催の要望があったものの、内容について今一度検討する必要があるように思われた。視察研修については、車内での研修内容、また異業種との交流が図られ好評であった。今後とも事業内容を吟味しながら、継続的に実施する。		総合評価 B	事業 実施 評価 の 目 標 達 成 度	自己評価	調査 結果 への 必要 性	満足度	補足	目標	当初の計画に沿って研修会、講演会等開催、一定の評価もでき、今後も検討していきたい。また、会員のニーズにあった、研修会、講演会を企画立案していきたい。
				目標 数値	3	実績 数値	3	目標 数値	70	実績 数値	52	B	B			両方現状維持		実施方法	両方現行どおり		

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。